



【野方遺跡案内図】



## 野方遺跡の価値とは

野方遺跡は、弥生から古墳へと時代が移り変わるなかでの北部九州の社会を、集落と墓地の両面から考えるための貴重な遺跡として、1975（昭和50）年6月におよそ21,000㎡が国史跡に指定されました。

## Value of Nokata Site as a historical resource

Nokata Site was designated as a National Historic Site in June 1975, as its settlement and cemetery provide important evidence for investigating the nature of society in northern Kyushu during the period of transition from the Yayoi to Kofun period.

## 野方遗迹的价值

野方遗迹在当时正处于从弥生向古坟时代变迁之际，对从部落和墓地两方面对九州北部的社会情况进行考证有着珍贵的价值，于1975年6月被定为国家级史迹。

## 노카타 유적의 가치

노카타(野方) 유적은 야요이 시대에서 고분 시대로 변천하는 북부 규슈의 사회를 취락과 묘지라는 양 측면에서 고찰하기 위한 귀중한 유적으로서, 1975년 6월에 국가사적으로 지정되었습니다.

## アクセス

Access



### ◆公共交通機関

#### 【西鉄バス】

「野方遺跡前」下車徒歩すぐ  
「野方遺跡入口」下車徒歩約6分

### ◆自家用車

#### 【福岡都市高速道路】

環状線外回り・内回りとともに「福重」出口から約8分

#### 【一般道】

福岡外環状道路「橋本西交差点」から約5分

## 野方遺跡住居跡展示館 Nokata Site Pit dwellings Museum

福岡市西区野方5丁目11-25 TEL 092-812-3710

開館時間/9:00～17:00(入館は16:30まで)

入館料/無料

休館日/月曜日(祝休日にあたる場合は翌平日), 12月29日～1月3日

# くに し せき 国史跡 の かた い せき 野方遺跡

Nokata Site  
National Historic Site

欢迎参观国家级史迹

“野方遗迹”。

국가사적 노카타(野方) 유적

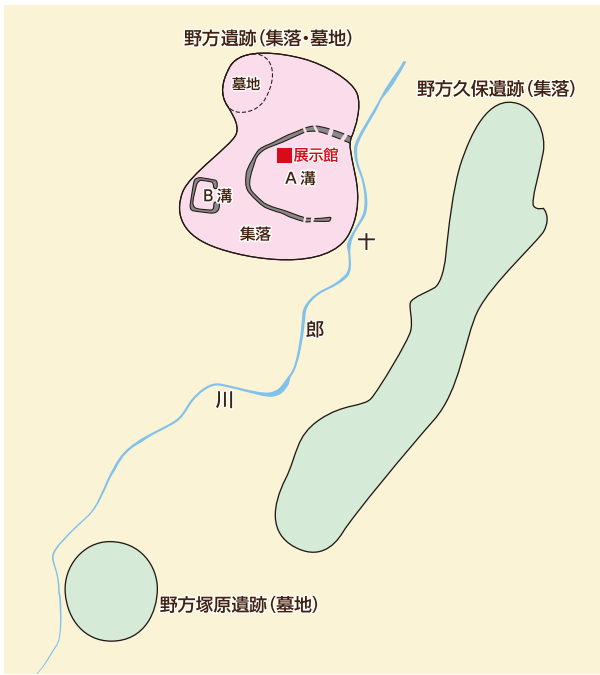
CULTURAL  
PROPERTIES  
IN  
FUKUOKA  
福岡市の文化財



福岡市文化財ナビ YOKA NAVI



アジアのリーダー都市へ  
FUKUOKA NEXT



野方遺跡と野方久保・野方塚原遺跡

## 野方遺跡の発見

### Outline of Nokata Site

野方遺跡は、叶岳（標高 341m）の東麓に広がる扇状地に築かれています。1973（昭和 48）年 4 月に発見され、発掘調査の結果、弥生時代後期から古墳時代前期（約 1,800~1,700 年前）の大規模な集落が姿を現しました。特に弥生時代後期には、径約 100m の卵形の溝（A 溝）が竪穴住居を囲んでおり、また一辺 25~30m の方形の溝（B 溝）が高床倉庫を取り囲む環濠集落でした。古墳時代に入るとこれらの環濠は埋まってしましますが、環濠の範囲を超えて集落が拡大したと考えられます。

## 環濠集落としての野方遺跡

### Nokata Site as a moated settlement

野方遺跡で発見された 2 つの環濠のうち、A 溝は集落の東を流れる十郎川につながるようです。また、B 溝は A 溝から西に 30m ほど離れています。

野方遺跡の発掘調査の成果を、野方久保遺跡など環濠をもたない遺跡と比較すると、野方遺跡のほうが墓に副葬される品物が豊富です。このことから、環濠をもつ野方遺跡のほうが上位のランクに位置づけられる集落だとわかります。

また、野方遺跡は、現在の福岡平野にあった奴国と早良平野を挟んで向かい合っていた糸島平野の伊都国が、クニの入り口に配置した集落のようです。このことから、環濠集落としての野方遺跡は、弥生時代から古墳時代へと向かう時期のクニと、クニを構成する集落の変遷を考えるうえで重要な遺跡といえるでしょう。



野方遺跡の竪穴住居



竪穴住居の想像図

掘立柱建物の想像図

## 竪穴住居と掘立柱建物

### Pit dwellings and embedded-pillar buildings

住居跡展示館内では、実際に発掘調査された竪穴住居 2 軒を展示しています。竪穴住居とは、地面を深く掘り込み、その底を床として柱を立て、屋根をふいたもので、野方遺跡では、100 軒以上が発見されています。これらは、住居内から見つかった土器などから、弥生時代後期後半から古墳時代前期（約 1,800~1,700 年前）の住居であることがわかっています。

また、館内には展示していませんが、発掘されたもう一種類の建物として掘立柱建物（高床倉庫）があります。これは、地表面に直接柱を埋め、床を設け、屋根をふいたものです。



石棺墓から出土した品々



古墳時代前期の石棺墓

## 墓地と鏡

### Graves and mirrors

集落の北西の墓地では、石棺墓、木棺墓、土こう墓（地面を掘っただけの墓）などが発見されています。

このうち、古墳時代前期の 1 号石棺墓には上方作獣帯鏡が副葬されていました。また、3 号石棺墓からは内行花文鏡が 1 面発見されました。どちらも後漢（約 2,000~1,800 年前）の銅鏡で、中国からもたらされたものです。土器とあわせて墓の年代を決める重要な手掛かりとなります。中国製の銅鏡を持っていることから、これらの石棺墓に葬られたのは集落を治める有力なリーダーで、古墳時代前期の野方遺跡が弥生時代に引き続き、地域の拠点集落であったことを示しています。